

たかみこう

高見港（多度津町管理地方港湾）

高見港は多度津港の北西 7.4km の海上にある塩飽諸島、高見島の南東岸に位置しています。

本港は、古くから船だまりとして利用されてきましたが、明治初期より多度津と中国を結ぶ航路の寄港地として発展しました。

本港の整備は大正 10 年に浜港および中之村港の拡張を行ったことに始まり、現在まで、数次にわたり施設の拡充を図ってきました。

現在本港は、多度津～高見～佐柳を結ぶ定期航路が発着する高見島の玄関港として、また、島内の生産、消費物資の取扱港として重要な役割を果たしています。

